

# かこが話・和・輪

2017年11月 第5号

発行：「かこがわ人の会」広報部

## かこがわの歴史をたずね・・・平成29年6月8日（木） 1期生 濱田裕二



コープ神戸歴史散歩の会をガイド・・・

加古川駅駅舎の三角屋根、写真で由来を説明しベルデモール商店街へ（かつめし/いろは一ず）のかつめし神社にお参りし、最終の泊神社を目指してスタートしました。寺家町商店街を左折光念寺へ。松尾青羅の墓碑・赤穂義士原惣右衛門ゆかりの書状や枕屏風（源平合戦絵図）、大石良雄の桜石を住職の計らいで見せて頂きました。屏風には、那須与一が馬上から船上の扇を射るところが描かれ感銘をうけました。

加古川図書館では三島由紀夫の徴兵検査を受けた跡、宝湯（逆さ雀）・称名寺（加古川城跡）を案内、ニッケの工場進出に伴い失われた町名（友栄町）の史実跡、春日大社では、化け猫伝説を話して赤壁のいわれを説明しました。近くにある加古川河川改修碑には当時の内務大臣の筆による碑銘、裏面には県知事の文が刻まれています。大正7年（1918）国の直轄による河川改修が開始され工期16年と約600万円の巨費を投じ、昭和8年（1933）に完成しました。泊神社では、宮本伊織寄進の灯笼を見学、伊勢神宮の御神体が泊まり着いた歴史ある神社を後にしました。

参加者「女性9名・男性2名」

ガイド（松尾・河合・記村・濱田裕）広報（濱田美）

## 第19回踊っこまつり 平成29年5月3日（祝） 2期生 伊藤朝子

さあ、今日は踊っこ。どんな衣装かなあーわくわくします。孫が十数年前に踊っていたので楽しみです。会場(本部)にてボランティアスタッフが出来るかなー？責任者の方から『笑顔で見送り、お迎えする事が第一』と聞き安心しました。さあ第一陣「いってらっしゃい」あなたが主役。そして衣装を少し触らせてもらいました。衣装が古典柄で色がなんとも言えない深み。心の中で私もお化粧してもらい衣装を着けて踊ってみたい。

（夜、夢の中で踊っていたら嬉しいなー）

各チームも目標に向かって全員心を一つにして笑顔とリズムと感性。個々の信頼と信念、それに団結です。終わればなんとすがすがしい顔。最高！自分に置き換えても恥ずかしいです。やっぱり踊っこの方がた素晴らしい。私たちに希望、いや夢を与えてくださっている。感謝の気持ちでいっぱいです。



**早崎 功** 住居は野口町坂元です。

現在加古川シルバー人材センターの会員8名でEM農業実践倶楽部を設立して東神吉（天ヶ原）で出来るだけ無農薬の野菜作りを行っています（5年目）。収穫物はケアセンターの直販、ヤマトヤシキ地下のスーパー（株）かぴまーとへの納品、市主催の「軽トラ市」と、貸農園の管理もしており忙しい毎日です。ほとんど毎日午前中は畑作業に従事しております。

趣味は読書、池井戸潤、佐伯泰英作を好んで愛読。「かこがわ人の会」では知識不足でまだまだお役立てないと思っています。今後もっともっと加古川を勉強していきます。



**光田 守**

190円で「大回り」を、桜満開のその時にトライする。桜と菜の花が共演し、のどかな風景を眺めながらの5時間の電車旅。広野～三田の区間は堤に並ぶ桜が見事。検定から教わり、「かこスタイル2」にも載っていたことです。



毎週火曜日 12時45分から7分程度。

今後の予定（5回）

12/19 1/2 1/16

3/6 3/20 -

## 2017年 ウキウキバンビーナ出演しました！

5月 2日	濱田裕二	「原の大地」の円筒分水工
5月 16日	河合勝彦	加古川改修記念碑
5月 30日	田中義勲	加古川水系（曇川）
7月 18日	河合勝彦	ニッケ社宅倶楽部
8月 1日	濱田裕二	宇宙ヨット「イカロス」
8月 15日	芦谷恒憲	寺田池
10月 3日	有川優一郎	日岡山パブリックアート展
10月 17日	藤井富美枝	加古川図書館・金剛寺公園
10月 31日	藤本雅彦	ギュッとメシ・恵幸川鍋

## 2018年

### かこがわ学講座・かこがわ検定 日程決まりました！

開催日	時刻	タイトル（仮）	講師
2月3日(土)	14時～16時	昔、加古川に飛行場があった。 ～陸軍加古川飛行場の歴史	上谷昭夫氏 (戦史研究家)
2月10日(土) 7時以降にお越しください。	市場紹介 A班 8時30分～ B班 9時30分～	オッサンオッサンこれなんぼ～卸売市場で お買い物 (加古川市公設地方卸売市場見学)	北村隆幸氏(加古川市 公設地方卸売市場場長)
2月17日(土)	14時～16時	おとなハイスクール「どっぶり播磨国風土記」	中西正和氏(兵庫県立 星陵高等学校教頭)
2月24日(土)	14時～16時	「そう言えば、あれはどないやったんやろ？」 忘れかけたつい「こないだ」の思い出～	すっきゃ加古川
3月3日(土)	14時～16時	かこがわ検定合格塾	
3月10日(土)	14時～14時30分	かこがわ検定	
3月24日(土)	14時～14時30分	上級合格証書授与式	

## 新入会員紹介 2017年(9期生)

9期生 10名の入会により  
会員数 105名となりました。

坂上 朝藤 伊東 今田 名本 兵藤  
早崎 光田 梅谷



### 朝藤 芙樹

長年住んでいる別府町の事を熟知したいと思い“べふ検定”を受験、その勢いで“かこがわ検定”にも挑戦、念願の「かこがわ人の会」に入れていただきました。出来る限り行事に参加して、より知識を深めたいと思っております。



### 今田 廣樹

リタイヤ・転勤を機に加古川検定に挑戦しました。転勤族であった為、これまで地元意識は希薄でした。

今後は「かこがわ人の会」も活用しながら、第二の人生、第二のふるさと「加古川」への郷土愛を末永く、深めていきたい。

### 伊東 律子

結婚してから、主人の転勤で8回神戸から北海道まで様々な土地へ行きました。行った先々で何か資格を取るようにし、その土地のこと友達も出来るから。加古川は主人の生まれ育った所です。楽しみながら知識は付くのは良いですね。

### 名本 美佐子

この度晴れて「かこがわ人」になれた名本です。知り合いの方が一生懸命活動されているのを間近で見ているのを間近で見ている、私も「もっと地元を知りたい! もっとかこがわを好きになりたい!」と思っています。よろしくお願いします。

### 梅谷 秀夫

昨年はかこがわ検定を受験するも最初の長楽寺の「木造地藏菩薩半伽像」が書けず不合格。

今年こそはと自転車を使い現地確認して長楽寺を参拝、高御位山の丁石の数確認、水管橋の渡り初め等でやっと合格出来ました。

### 坂上 肇

現役を終え、加古川とは?を改めて勉強してみようと一念発起し3年の長旅に挑戦したが、3年では完成せず4年目の今年ようやく観光協会から修了書を頂くことになりました。勉強はしただけのことはあり、居酒屋で「恵幸川鍋って知ってる?」「加古川の観光大使知ってる?」と優越感に浸り、旧跡を散策しては昔に思いをはせ、一回り大きくなった様な錯覚に浸っています。

### 兵藤 新太郎

夢破れて加古川あり。

約半世紀前に、愛媛県から加古川の地にやってきました。定年後は郷里に帰ることが夢でしたが、夢は破れる現実が見えてきました。この地に骨を埋めるならもっと加古川の事が知りたいと思うようになり、「かこがわ人の会」に入会しました。ご指導、宜しくお願い致します。

### 栗井 博





## 親子文化財教室に参加して

29年7月23日(日)

8期生 多田康男



「かこがわ人の会」に入って2年目となります。鶴林寺親子文化財教室も2年連続の参加になります。連日の暑さも今日の天気予報は曇りで少しやわらぎ、ちょうど良い時間帯でした。

大勢の子どもたちが保護者と一緒に予定の時間より早く山門前に集まってきました。「かこがわ人の会」をはじめ、吉田住職さんや衣笠さん、鶴林寺のガイドボランティアの方々も参加され、ガイド担当箇所それぞれ説明されました。

子どもたちは一生懸命メモを取っていました。

保護者の方々もガイドの方に質問をし、夏休みの自由研究をしていました。

私も宝物館や本堂、太子堂で説明を聞き、鶴林寺の歴史を少しでも勉強して帰れば良いと思いました。ガイドされたみなさん、ボランティアのみなさん、ご苦労様でした、ありがとうございました。

7期生 森田 茂

大暑のこの日、この教室が開かれました。曇り空で蒸し暑い天気です。三面鬼瓦を担当しました。鶴林寺境内で、七堂伽藍のうち高いお堂は三重塔でよく目立ちます。ご本尊は大日如来です。

この屋根瓦の四隅に一重二重三重ともに鬼瓦が重なって美しさを見せています。この多くの鬼瓦のうち、一か所だけ様子が違った鬼がいました。三面鬼瓦です。北東の方向うしとら(鬼門)の反対(背中)南西方向ひつじさる(裏鬼門)にある。裏鬼門は諸々の出入口であり、一層のにらみを利かせたのであろう。このついでに古方位を高学年に説明。北方向の(子)と南方向の(午)で、子午線(東経135度日本標準=明石市)としてよく知られていると話したら笑顔であった。



**7月21・22・23日「かこむ創造フェスタ2017」**

活動パネル展示、竹細工親子体験等で参加しました。

### おねがい事です！

原稿募集・・・冊子(八幡地区・平荘地区・米田町)作成します。12月8日(金)までに  
地区取材者募集・・・3地区の取材協力をいただける方募集。11月20日(月)までに  
いずれも研修部部長 濱田 090-8883-8586 までご連絡をお願いします！

### 編集後記



厳しい残暑がいつまで続くのかと置いていたら秋がすんなり訪れ、一雨ごとに深まっています。金木犀の芳香の中、播磨地方は秋祭りで盛り上がり、休耕田では濃淡ピンクや白のコスモスが揺れています。1年で一番好きな季節となり、名月、豊穡、紅葉。俳句がうかんできそうな。でも、難しい・・・

